

留萌ダム管理用水力発電所の概要



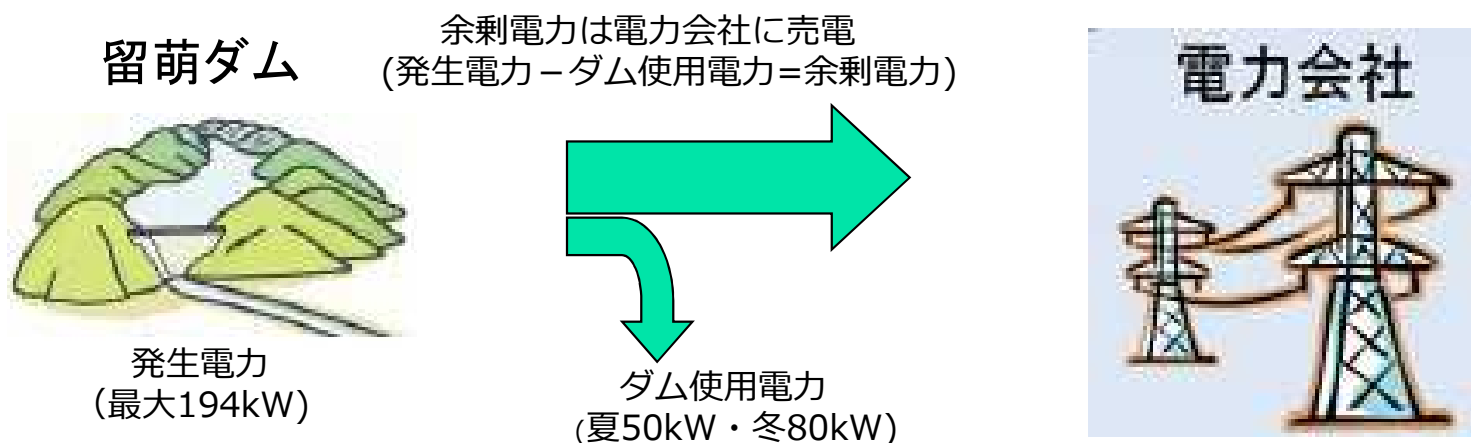
留萌ダム管理用水力発電所導入の目的等

管理用発電導入の目的

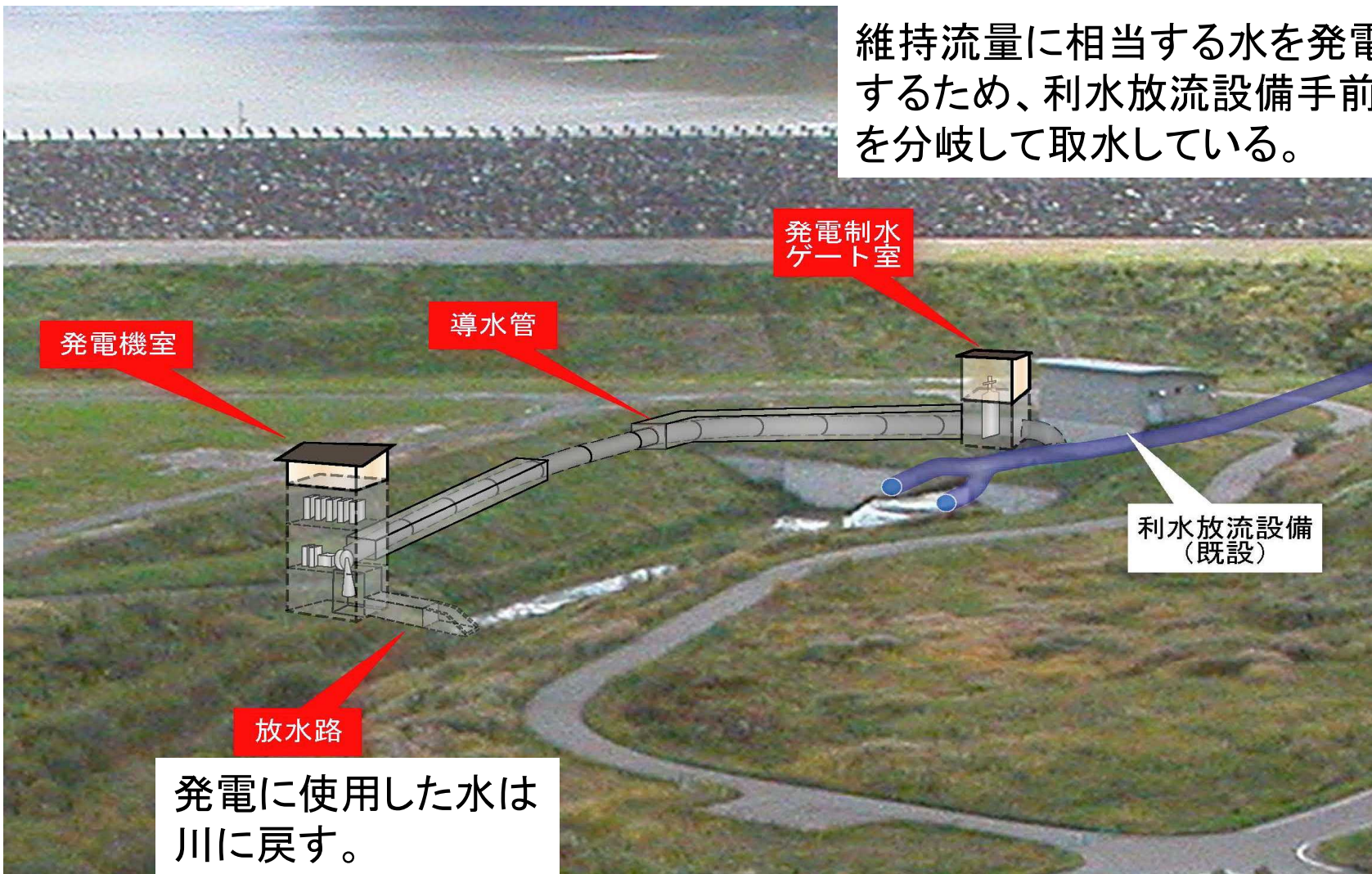
- 長期の停電等不測の事態に対して、確実なダム管理を行うため、また未利用クリーンエネルギーの徹底的な有効活用が社会的に求められていることから、管理用発電の設置を行う。

管理用発電導入の利点(メリット)

- 災害時の非常用電力の確保
 - ・ 停電時、災害時等に安定してダム管理用の電力供給が可能。
- 未利用エネルギーの有効活用
 - ・ 河川の環境維持のためのダム放流水を発電エネルギーとして有効活用することで、管理コストの縮減、売電による収入が期待できる。
 - ・ 管理コスト(電気料金)の縮減
自前の電気を使用することで、電気料金を縮減することが可能となる。
 - ・ 売電による収入
発生電力(最大194kW) - ダム使用電力(夏 50kW 冬80kW) = 売電(最大で夏144kW・冬114kW)が可能



発電施設の配置(イメージパース)



発電施設諸元

- ・発電出力

最大 194 kW

(有効落差: 18.40m、
使用水量: 1.4m³/sの場合)

- ・使用水量

0.3 m³/s ~ 1.4 m³/s

※ダム直下の維持流量 (0.3m³/s)

- ・水車形式

フランス水車

(日本の水力発電所の70%が採用)

- ・発電機形式

同期型発電機

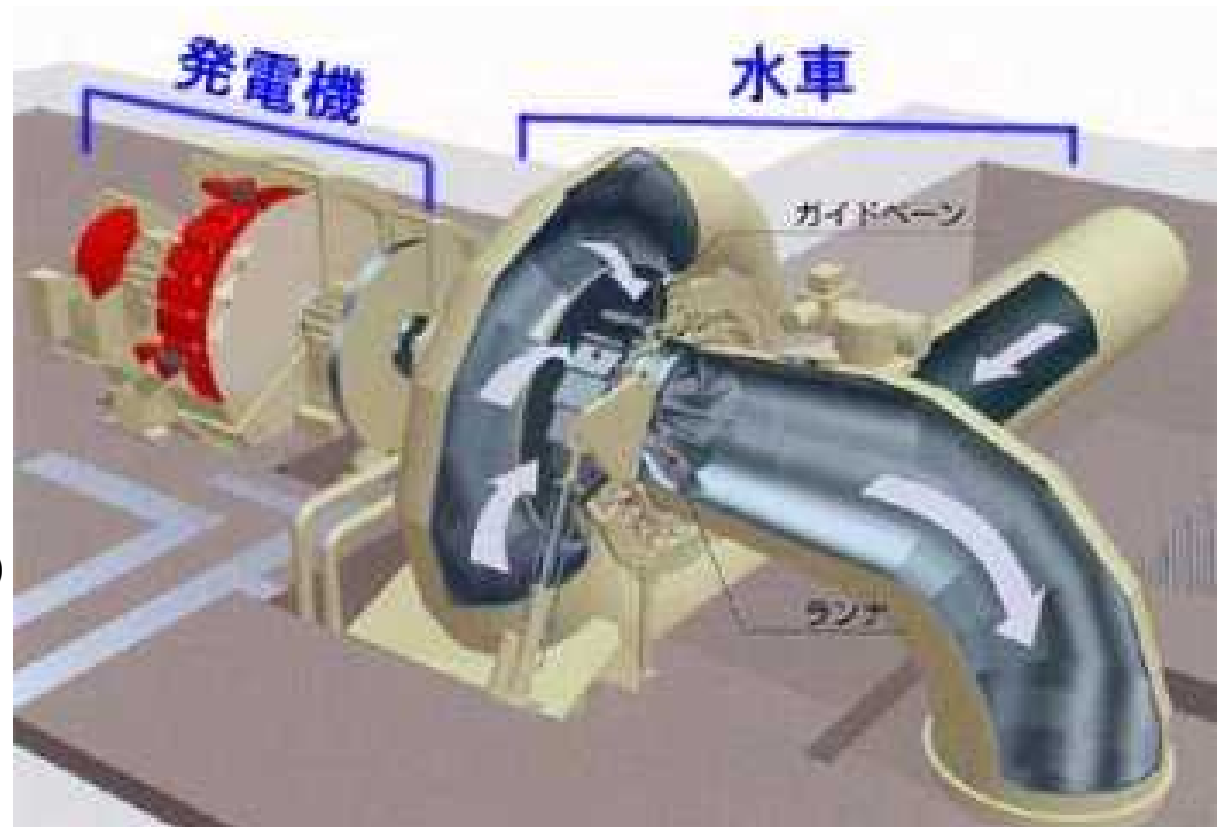
(停電時に単独運転が可能)

- ・導水管 (SUS304 φ900)

L = 140m

- ・発電制水ゲート設備

高圧スライドゲート 1門



発電機室内(水車・発電機)

